

ヤマカAHIパネル 施工面衝撃試験

開始日：平成25年9月4日

【目的】

AHI[®] 襖を接着剤とピンネイル(径0.6mm)併用で施工した場合の耐久性を確認する。

【施工方法】

LGS65×40 間隔303mm(写真①)⇒下地合板12mmをビス止め(写真②)⇒AHI[®] 襖5.5mmクリアー裏面へ接着剤塗布(写真③)⇒ピンネイル(径0.6mm)を200mm間隔にて打ち付け目透しにて施工完了(写真④)



①LGS65×40 間隔303mm



②下地合板12mm LGSに
ビス止め



③AHI[®] 襖へ接着剤塗布
(コシ酢ビ[®] 接



試験体側面 LGS+12mm



コシ酢ビ[®] 止め間隔150mm

④完成施工写真



(試験体全景の写真)



【試験方法】

施工された楯抗菌パネルに、以下の方法で衝撃を加え、回数毎でのパネル表面や施工に用いたピンネイル等の状態の変化を観察する。

- ①バスケットボール7号球(高校及び一般用)をパネルからの距離60cmかつ床からの距離90cmの位置に130cmのひもで天井から宙づりにする。
- ②ひもを張ったまま、床からの高さ220cmの停止位置までボールを引き上げた後ボールを離す。ボールは、パネルの的のほぼ同じ位置に同じ軌道で衝撃を加えることとなる。なお、回数の測定にはTANITA・PD635(振動歩数計)を用いた。



【結果】(途中経過)

- ◇9/30現在 衝撃回数 3,000回
観察事項：パ[®] 襖表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。
- ◇10/8現在 衝撃回数 6,000回
観察事項：パ[®] 襖表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。
- ◇10/15現在 衝撃回数 9,000回
観察事項：パ[®] 襖表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。
- ◇10/22現在 衝撃回数 12,000回
観察事項：パ[®] 襖表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。